

平成16年8月10日

平成17年度京都大学工学部高専編入学試験における
専門科目試験の出題範囲通知ミスについて

【公表に当たって】

このたび、工学部高専編入学試験の実施において出題範囲のミスがありました。この事実を厳粛に受け止め、再発防止のためにも深く反省して、ここに公表します。

【概略説明】

- (1) 試験日 平成16年8月5日(木) 基礎科目試験
平成16年8月6日(金) 専門科目試験(筆記試験、面接)
募集人員 10名程度(工学部 6学科)
受験者数 12名(物理工学科、工学部全体では58名受験)
- (2) 6日(金) 午後の物理工学科の専門科目試験(面接)の際に、受験生から「(2日目午前実施の専門科目試験(筆記試験)において)事前に受け取った出題範囲を示す通知の中に書かれていない『流体力学』が出題されていた。」との申し出があった。
- (3) 受験生に送付した書類を調査したところ、書類を作成した際の転記ミス(出題範囲6分野のところ5分野しか記載していなかったこと。)と判明した。

1. 出題範囲転記ミスの内容

物理工学科受験生に送付した「受験票の送付及び試験上の注意について」の中で、筆記試験 物理工学基礎(力学・電磁気学・材料力学・熱力学・流体力学・材料基礎学の中から出題する。)と表記するところを、書類を作成した際に「流体力学」が欠落していた。

2. 措置内容

「流体力学」を全員満点とし、受験生が不利益を被らないようにすることとし、その旨を各受験生に通知した。

3. 今後の対応

このようなミスの発生原因を検証し、再発防止のため、チェック方法の改善等の対策を講じる。

本件に対する工学部の問い合わせ先
工学研究科等教務課長 桐山正己
TEL 075-753-5037